

平成19年度
佐賀県ベンチャー交流ネットワーク第2回例会

【概要】

7月18日、佐賀大学(佐賀市本庄町)で、ベンチャー交流ネットワーク第2回例会を開催しました。

今回は、佐賀大学産学官連携推進機構科学技術共同開発部門主催の科学技術シンポジウムとの共催で、当会の会員・公的機関参加者に加え、佐賀大学教員など約80人が参加しました。基調講演、理工学部・農学部の実験事例の紹介に加えて、参加者は8つのグループに分かれて関心のある研究室の見学を行い、教員の方々の説明に熱心に耳を傾けた後は、総合討議として、事前に質問があった内容に対して佐賀大学の担当教員の方に回答をしていただき、活発な意見交換が行われました。



【基調講演】

佐賀大学産学官連携推進機構科学技術共同開発部門長の柳田晃良氏が開会あいさつの後、「メタボを予防する機能性食品の開発」と題して基調講演が行われました。

生活習慣病予防への活用が期待される「機能性脂質」の現状や食品油脂の栄養生理機能についてわかりやすい解説がなされました。

【理工学部・農学部の実験事例の紹介】

両学部の各学科で研究されているテーマとそのおおまかな内容や県内企業等との共同研究事例等について、理工学部教授機能物質化学専攻の渡孝則氏および農学部長農学部教授野瀬昭博氏にわかりやすく説明していただきました。





[研究室見学]

参加者は8グループに分かれて、農学部3学科、理工学部5学科の中で関心がある2つの研究室見学を行いました。研究室では、めずらしい研究機材を見たり、教授や担当教員の方が研究テーマについて、わかりやすい説明がなされ、参加者は、自社の事業に役立てることができないか、積極的に質問をしたり、意見交換を行いました。

[総合討議]

例会の終わりに総合討議の時間を設け、あらかじめ、会員の皆さんから出された質問事項について、佐賀大学の担当教員の方々に回答をしていただきました。また、個別での回答を希望する方について総合討議終了後に個別で対応をしていただきました。



[交流会]

例会終了後、当ネットワーク会長の中村敏郎氏(中村電気製作所会長)のあいさつで交流会が始まりました。佐賀大学の教授、教員の方々と引き続き意見交換をしているグループ、親交を深めるグループなど和やかな雰囲気の中で行われました。